様式第13号（第19条関係）

記入例

届出日を記入する。

危険物製造所等災害発生届出書

届出部数：**1部**
（副本を必要とする場合は2部でも可）
届出時期：災害等発生後、**3日以内**
提 出 先：消防本部予防課

○○年○○月○○日

（宛先）　舞鶴市長

届出者

住　所　舞鶴市○○町○丁目○番○号

氏　名　○○工業株式会社

代表取締役　消防　太郎

届出者の住所及び氏名は、当該届出に係る製造所等の所有者、管理者又は占有者のうち、当該届出を行うことが適切と認められる者の住所及び氏名とすること。

発生日時	○○年○○月○○日　午・前・後　○○時○○分					
発生場所	舞鶴市○○町○丁目○番○号					
災害発生の経過	給油取扱所において、車両が運転操作を誤り、固定給油設備に接触し、破損したもの。 詳細は別紙のとおり。					
処置の状況	直ちに、固定給油設備の使用を停止、粉末消火器を設置して油漏れがないことを確認した。 詳細は、別紙のとおり。					
被害の状況	固定給油設備（カバー部分）破損 詳細は別紙のとおり。					
死傷者	なし		消火設備	使用なし		
出火責任者	住所	舞鶴市○○町○番○号	氏名	消防　次郎	年齢	60
	危険物取扱経験	有	○○年　○○月		無	
	危険物取扱者免状	有	種類	甲・乙・丙	類別	四類
	免状交付年月日	○○年○○月○○日	交付官庁	京都	無	
※受付欄		※経過欄				

災害発生した日時及び発生場所の住所を記入する。

災害発生の経過、処置の状況、被害の状況を記入する。
別途災害の概要、発生の経過等を作成している場合は、「別紙のとおり」と記入し、別紙を添付する。

災害発生により、死傷者が発生した場合に記入する。

災害発生により、消火設備を使用した場合に記入する。

出火責任者欄は火災が発生した場合のみ記入し、該当がない場合は空欄とする。
火災が発生した場合は、出火責任のある者の住所、氏名、年齢等を記入し、出火責任者の危険物取扱に係る情報を記入する。

当該届出書については、次の場合に提出するものです。
- **製造所等で火災が発生した場合**
- **製造所等で火災には至らなかった事故が発生した場合**
- **危険物の漏洩、流出があった場合**

備考　※印欄は、記入しないこと。